

「いわての復興教育スクール（内陸）」指定校の取組から

地域の実態に応じた復興教育の推進

本年度、下橋中学校区と巻堀中学校区では、「いわての復興教育スクール（内陸）」の指定を受け、復興教育を推進しました。三つの教育価値（いきる・かかわる・そなえる）をバランスよく取り入れた両中学校区の取組について、紹介します。

下橋中学校区

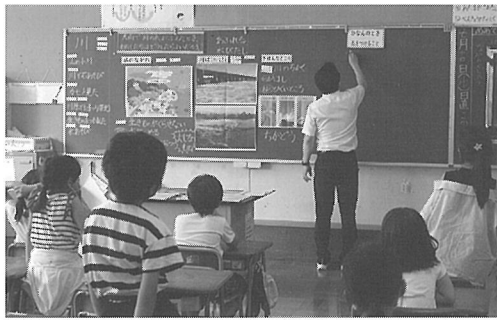
拠点校 下橋中学校
連携校 桜城小学校
杜陵小学校



下中生によるアルファ米炊き出し

下橋中学校区では、七月三十日に三校で合同地区調査

活動を行いました。自衛隊岩手地方協力本部による「災害時の特殊車両・装備」の説明を聞いたほか、アルファ米炊き出しの実演を行ったり地区ごとに安全マップを作成したりしました。下中生のリーダーシップの下、小中学生が関わりを深めながら、防災意識を高めることができました。



低学年の授業「川について知る」

桜城小学校では、発達段階に合わせて水害の授業を行いました。子どもたちは、三つの川に囲まれた学区の状況を

理解し、避難の仕方等について自分事として考えることができました。



水害を想定した避難訓練

杜陵小学校では、六月二十二日に水害避難訓練や引き渡し訓練を行いました。子どもたちは、災害によって避難場所や避難方法が異なることを、体験を通して実感することができました。

巻堀中学校区

拠点校 巻堀中学校
連携校 巻堀小学校
好摩小学校

巻堀中学校区では、各学校

の状況について小まめに情報共有を図りながら、取組を推進しました。

巻堀小学校では、十一月二十六日に、ブラザおでつて前広場にてふるさと学習の成果を発表しました。巻堀神楽を披露したり姫神小桜ストラップを販売したりし、地域に対する誇りをより高めることができました。



巻堀神楽を披露

好摩小学校では、十月十八日に「命の授業」を行いました。講師の腰塚勇人氏が教えてくださった「幸動（自分や人を大切に思い行動すること）」という考え方に大きな感銘を受けた子どもたちは、その後「ハッピーアクション（友達を喜ばせる行動を増やす活動）」に取り組みました。



腰塚氏の講演に聞き入る子どもたち

巻堀中学校では、八月四日に防災マップ作りを行いました。市役所の危機管理防災課から講師を招き、洪水や土砂災害の際に想定される危険箇所等を確認しながら、実生活で役立つ知識や技能を身に付けることができました。



地区ごとに防災マップ作り